バランス <ターゲット・デート型>

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド 2030/2035/2040/2045/2050/2055/2060/2065 (確定拠出年金向け)愛称: あすへのそなえ

投資信託協会分類:追加型投信/内外/資産複合

運用商品の種類 投資信託 元本保証 なし

予定運用利回り(利益の見込み) 当運用商品は値動きのある有価証券等に投資するため

予め利益の見込みを示すことはできません

信託設定日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金): 2015年12月18日

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金): 2017年12月11日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金): 2015年12月18日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金): 2017年12月11日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金): 2015年12月18日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金): 2017年12月11日 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金): 2018年12月11日

三菱UFJ ターケット・イヤー・ファント2060(傩定拠出年金) : 2018年12月11 [三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065(確定拠出年金) : 2020年9月30日

日経新聞掲載略称 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金): あすへ30

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金): あすへ35 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金): あすへ40 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金): あすへ45 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金): あすへ50 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金): あすへ55 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2060(確定拠出年金): あすへ60 三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2065(確定拠出年金): あすへ65

(委託会社略称:三菱UFJ)



運用商品の特色

この商品はターゲット・デート型と呼ばれ、資産配分が時間の経過により変動します。退職を迎える日をターゲット・デートと想定し、時間の経過とともに資産配分を自動的に変更します。一般に年齢が上がるとリスク許容度は低くなるため、徐々にリスクを抑えた資産配分に変更します。また、ターゲット・デートの異なる複数の商品(2030/2035/2040/2045/2050/2055/2060/2065)で構成されており、今後も新たなターゲット・デート(2070,2075・・・)の商品が自動的に追加されていきます。これにより、どの年齢層の方にもご自身の年齢にあった商品を選択することができます。

投資対象資産	ターゲット・イヤーが近づくにしたがいリスクを漸減させ、ターゲット・イヤー到達後は投資比率を一定にする ことを基本とします。										
		基準資産配分比率									
	投資対象	2030 (設定当初)	2035 (設定当初)	2040 (設定当初)	2045 (設定当初)	2050 (設定当初)	2055 (設定当初)	2060 (設定当初)	2065 (設定当初)	ターゲット・ イヤー 到達後	
	国内株式	14%	22%	30%	36%	40%	43%	45%	45%	5%	
	外国株式	6%	11%	15%	18%	20%	21%	23%	23%	2%	
	国内債券	66%	62%	50%	41%	35%	31%	27%	27%	59%	
	外国債券	5%	5%	5%	5%	20%	5%	5%	5%	5%	
	国内短期 金融資産	9%	ı	_	ı	ı	_	_	_	29%	
	※上記は、2021年9月末現在の基本資産配分であり、将来実際に上記のとおりの運用を行うことを保証するものではありません。 ※四捨五入の関係で上記の数値を合計しても100%にならないことがあります。 ●各ファンドにおいて、ターゲット・イヤーに接近する(運用期間が経過する)にしたがい安定性資産の比率を引き上げてリスクを漸減させます。 ●各ファンドにおいて、ターゲット・イヤー到達後は、安定性資産*等を中心に各資産への実質的な投資比率を一定にすることを基本とします。 ※安定性資産とは、国内債券および国内短期金融資産をいいます。										
為替ヘッジ	なし										

 委託会社(運用会社)
 三菱UFJアセットマネジメント

 受託会社
 三菱UFJ信託銀行

 ベンチマーク
 なし

 運用手法
 パッシブ運用

2 運用のしくみ

●当運用商品はマザーファンドを通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

主要投資対象

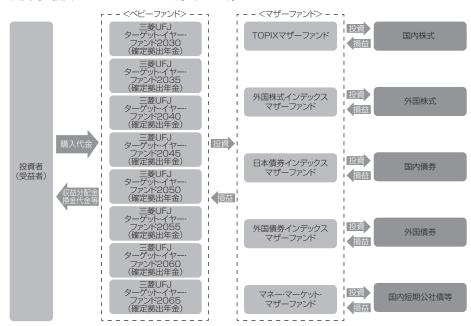
主として下記マザーファンドの受益証券

マザーファンドへの投資を通じて各資産に実質的な投資を行います。

- ファント の及員と起じて自真座に入員的の投資と行いのす。						
マザーファンド名	主要投資対象	運用目標				
TOPIXマザーファンド	国内株式	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。				
外国株式インデックス マザーファンド	外国株式	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。				
日本債券インデックス マザーファンド	国内債券	NOMURA-BPI総合と連動する投資成果をめざして運用を行います。				
外国債券インデックス マザーファンド	外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。				
マネー・マーケット・マザーファンド	国内 短期公社債等	安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。				

運用

●運用は主に各マザーファンドへの投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産 へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



※確定拠出年金プランによっては、取り扱わないファンドがある場合があります。

●マザーファンドの運用プロセス

(マネー・マーケット・マザーファンドを除きます。)

ステップ1:投資対象ユニバースの作成

ベンチマーク採用銘柄を主要投資対象とします。

ステップ2:ポートフォリオ案の作成

モニタリング結果に加えて、ファンドの資金動向やベンチマーク構成の 変動などを考慮してポートフォリオ案を作成します。

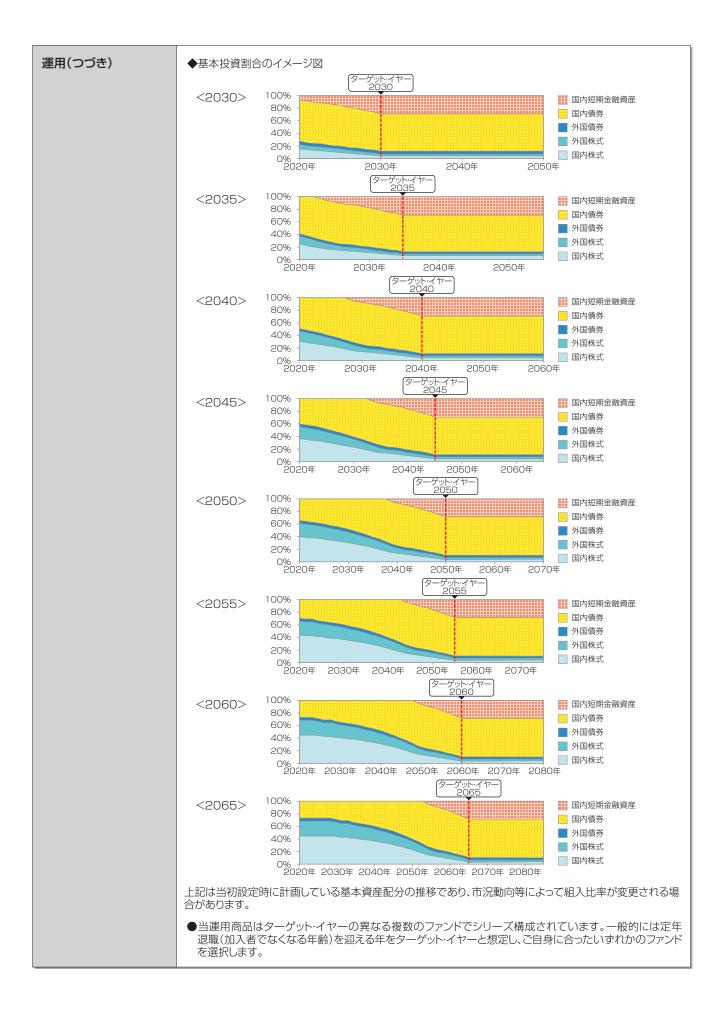
ステップ3:売買執行

→ 売買執行の際には、売買コストの抑制に留意します。

ステップ4:モニタリング

一連の投資行動を分析し、その結果をポートフォリオに反映することで、 運用の継続的な改善に努めます。

※上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用ができない場合があります。



運用(つづき)

●下表は「加入者でなくなる年齢」と「生年月日」による<ファンド選択早見表>です。ファンド選択のご参考としてください。
※「加入者でなくなる年齢」はプラン毎に異なります。スターターキットやアンサーネットに掲載されている「My DC PLAN」でご確認ください。
※個人型の「加入者でなくなる年齢」は「65歳」です。(2022年5月1日~法改正)

<ファンド選択早見表>

※65歳を超えるテーブルについては、2022年5月1日以降の適用となります。

加入者で	(るナーノルについては、2022年5 	73168	ベドキップ 担	ריטיים ווי	対象とな	「スファ)	ンド			ターゲット・イヤー(デート)
なくなる年齢	生年月日	2030	2035	2040				2060	2065	到達時の年齢
	~ 1975/09/10	0								55歳 ~
	1975/09/11 ~ 1980/09/10		0							55歳 ~ 60歳
	1980/09/11 ~ 1985/09/10			0						55歳~60歳
60歳	1985/09/11 ~ 1990/09/10				0					55歳~60歳
	1990/09/11 ~ 1995/09/10 1995/09/11 ~ 2000/09/10					0	0			55歳~60歳
	2000/09/11 ~ 2005/09/10							0		55歳 ~ 60歳 55歳 ~ 60歳
	2005/09/11 ~									~ 60歳 ~ 60歳
	~ 1974/09/10	0								56歳~
	1974/09/11 ~ 1979/09/10		0							56歳 ~ 61歳
	1979/09/11 ~ 1984/09/10			0						56歳 ~ 61歳
61歳	1984/09/11 ~ 1989/09/10				0					56歳~61歳
- 1,2,0	1989/09/11 ~ 1994/09/10					0				56歳~61歳
	1994/09/11 ~ 1999/09/10						0	0		56歳~61歳
	1999/09/11 ~ 2004/09/10 2004/09/11 ~									56歳 ~ 61歳 ~ 61歳
	~ 1973/09/10	0								57歳~
	1973/09/11 ~ 1978/09/10		0							57歳~62歳
	1978/09/11 ~ 1983/09/10			0						57歳 ~ 62歳
62歳	1983/09/11 ~ 1988/09/10				0					57歳 ~ 62歳
ر المراس	1988/09/11 ~ 1993/09/10					0				57歳 ~ 62歳
	1993/09/11 ~ 1998/09/10						0			57歳 ~ 62歳
	1998/09/11 ~ 2003/09/10 2003/09/11 ~							0		57歳 ~ 62歳 ~ 62歳
	~ 1972/09/10	0								58歳~
	1972/09/11 ~ 1977/09/10		0							58歳 ~ 63歳
	1977/09/11 ~ 1982/09/10			0						58歳 ~ 63歳
63歳	1982/09/11 ~ 1987/09/10				0					58歳 ~ 63歳
	1987/09/11 ~ 1992/09/10					0				58歳 ~ 63歳
	1992/09/11 ~ 1997/09/10						0			58歳 ~ 63歳
	1997/09/11 ~ 2002/09/10							0		58歳 ~ 63歳
	2002/09/11 ~ ~ 1971/09/10	0							0	~ 63歳 59歳 ~
	1971/09/11 ~ 1976/09/10	0	0							59歳~64歳
	1976/09/11 ~ 1981/09/10			0						59歳 ~ 64歳
64歳	1981/09/11 ~ 1986/09/10				0					59歳 ~ 64歳
04成	1986/09/11 ~ 1991/09/10					0				59歳 ~ 64歳
	1991/09/11 ~ 1996/09/10						0			59歳 ~ 64歳
	1996/09/11 ~2001/09/10 2001/09/11 ~							0	0	59歳 ~ 64歳
	~ 1970/09/10	0								~ 64歳 60巻 ~
	1970/09/11 ~ 1975/09/10		0							60歳 ~ 60歳 ~ 65歳
	1975/09/11 ~ 1980/09/10			0						60歳 ~ 65歳
65歳	1980/09/11 ~ 1985/09/10				0					60歳 ~ 65歳
پرازاد ک	1985/09/11 ~ 1990/09/10					0				60歳 ~ 65歳
	1990/09/11 ~ 1995/09/10						0			60歳 ~ 65歳
	1995/09/11 ~ 2000/09/10							0		60歳~65歳
	2000/09/11 ~ ~ 1965/09/10	0								~ 65歳 65歳 ~
	1965/09/11 ~ 1970/09/10		0							65歳~70歳
	1970/09/11 ~ 1975/09/10			0						65歳 ~ 70歳
70歳	1975/09/11 ~ 1980/09/10				0					65歳 ~ 70歳 65歳 ~ 70歳
/ U成	1980/09/11 ~ 1985/09/10					0				65歳 ~ 70歳
	1985/09/11 ~ 1990/09/10						0			65歳 ~ 70歳
	1990/09/11 ~ 1995/09/10 1995/09/11 ~							0		65歳 ~ 70歳
	~ 1960/09/11 ~ ~ 1960/09/10	0								~ 70歳 70歳 ~
	~ 1960/09/10 1960/09/11 ~ 1965/09/10		0							70歳~
	1965/09/11 ~ 1970/09/10			0						70歳 75歳
75歳	1970/09/11 ~ 1975/09/10				0					70歳 ~ 75歳
ノンが	1975/09/11 ~ 1980/09/10					0				70歳 ~ 75歳
	1980/09/11 ~ 1985/09/10						0			70歳~75歳
	1985/09/11 ~ 1990/09/10							0		70歳~75歳
	1990/09/11 ~							<u> </u>		~ 75歳

生年月日の区切りは各ファンドの決算日です。

1985年11月5日生まれの方 ⇒ 2045

〈例1〉加入者でなくなる年齢が61歳の

〈例2〉加入者でなくなる年齢が年齢65歳の 1985年11月5日生まれの方 ⇒ 2050

<留意点>

一般に、年齢が上がるとリスク許容度が低くなるといわれており、本商品はターゲット・イヤーに近づくにつれてリスクが低くなるように設計されています。ただし、リスク許容度を考える要素は一つではありませんので、最終的にはご自身の判断でファンドをお選びください(上記の<ファンド選択早見表>はあくまでもご参考です)。

当運用商品が指定運用方法の場合 (企業型プラン)

加入後、一定期間を経過した後も運用指図を行わなかった場合、当運用商品(シリーズ)のいずれか1ファンドを購入することになります。購入するファンドは、加入者でなくなる年齢と生年月日によって自動的に決定されます。自動的に購入するファンドは「②運用のしくみ」に記載されている<ファンド選択早見表>でご確認ください。

- ※指定運用方法の詳細については、「運用商品一覧」、「My DC PLAN」をご確認ください。
- ※指定運用方法適用後(当運用商品を自動的に購入した後)も、いつでも他の運用商品に変更することができます。

3 重要事項

当運用商品は、マザーファンドを通じて、主に国内外の株式や債券を投資対象としており、その価格は、保有する株式や債券の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。

ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の下落により損失を被り、 投資元本を割り込むことがあります。

当商品は、ターゲット・イヤー(安定運用開始時期)に向けて時間の経過とともに資産配分が自動的に変化する、ターゲット・デート型のバランス型投資信託です。そのため、基本アセットアロケーションが変動しない一般的なバランス型投資信託とは異なる運用結果となります。

主な リスク

価額変動リスク	一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社 債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入株式や組入 公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。
為替変動リスク	組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく 受けます。
信用リスク	組入有価証券等の発行者や取引先等の経営·財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

4 お取引メモ

当運用商品の取引や保有にかかる費用および税金は加入者等の負担となります。詳細は投資信託説明書(目論見書)でご確認ください。

購入時

取引単位	1円以上1円単位
取引価額	申込受付日※の翌営業日の基準価額
信託財産留保額	なし

※確定拠出年金制度の場合、購入手数料はかかりません。

保有時

信託報酬

信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。 <信託報酬率およびその配分>

	計算期間	信託報酬(年率)	内訳(税抜、年率)			
三菱UFJ	司 昇州间 	(税込)	委託会社	販売会社	受託会社	
ターゲット・イヤー・ファンド2030	~2025/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
(確定拠出年金)	2025/9/11~2030/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
	2030/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ ファンド2035	2020/9/11~2030/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
	2030/9/11~2035/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
(確定拠出年金)	2035/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
	I					
三菱UFJ	~2025/9/10	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
ターゲット・イヤー・	2025/9/11~2035/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
ファンド2040 (確定拠出年金)	2035/9/11~2040/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
(唯在)地山十亚)	2040/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	

保有時

信託報酬(つづき)

	計算期間	信託報酬(年率)	内訳(税抜、年率)			
三菱UFJ	D1 9+7/11-3	(税込)	委託会社	販売会社	受託会社	
ターゲット・イヤー・ ファンド2045	~2030/9/10	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
(確定拠出年金)	2030/9/11~2040/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
	2040/9/11~2045/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
	2045/9/12~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
	~2035/9/10	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
三菱UFJ ターゲット・イヤー・	2035/9/11~2045/9/11	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
ファンド2050	2045/9/12~2050/9/12	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
(確定拠出年金)	2050/9/13~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
一类儿厂!	~2040/9/10	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
三菱UFJ ターゲット・イヤー・	2040/9/11~2050/9/12	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
ファンド2055 (確定拠出年金)	2050/9/13~2055/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
	2055/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
三菱UFJ ターゲット・イヤー・	~2045/9/11	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
	2045/9/12~2055/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
ファンド2060	2055/9/11~2060/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
(確定拠出年金)	2060/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
—#IIF I	~2050/9/12	0.396%	0.16%	0.16%	0.04%	
三菱UFJ ターゲット・イヤー・	2050/9/13~2060/9/10	0.374%	0.15%	0.15%	0.04%	
ファンド2065	2060/9/11~2065/9/10	0.308%	0.12%	0.12%	0.04%	
(確定拠出年金)	2065/9/11~	0.242%	0.09%	0.09%	0.04%	
 その他費用※とし		 に要する費用や稅	金がかかり)ます		
約款に定める「収	益分配方針」に基づいて原見 ものではありません)					
年1回 原則9月	<u>- 10日(該当日が休業日の場</u>	 場合は翌営業日とし	」ます)			
分配金は自動的に	無手数料で当運用商品に	再投資されます				
確定拠出年金制度	確定拠出年金制度においては、分配金に対する所得税・地方税の課税はありません					

※その他費用については「投資信託について」の<6.費用と税金>をご覧ください。

売却時 (換金時)

	5.2 2 4 43 7 40.74,13 6 15 E 2 2 5 4 6 6 4 6
取引単位	1口単位
取引価額	申込受付日※の翌営業日の基準価額
信託財産留保額	なし
税金	確定拠出年金制度においては、売却時(換金時)に発生した利益に対する所得税・地方税の課税はありません
代金の支払	申込受付日*から起算して原則5営業日目以降

※申込受付日については「投資信託について」のく5.お取引メモ>をご覧ください。(運用指図を行った日と異なるためご注意ください。)

スイッチング(預け替え)

その他費用 収益分配

> 決算日 支払い方法 税金

運用方法は途中で変更すること(スイッチング)ができます。具体的には、保有している運用商品の全部または一部を売却(換金)し、その代金で 他の運用商品を購入します。スイッチングにおいて当運用商品を売却(換金)する場合は、上記売却時(換金時)の要領にしたがいます。

個人の持分(個人別管理資産額)の計算方法

持分

解約価額 × 保有口数

÷ 10,000

- *基準価額は日々変動します
- *左記式は、基準価額が1万口あたりで表示されている 場合のものです

(解約価額=基準価額-売却時の信託財産留保額)

償還(信託の終了)

信託期間は無期限です。

ただし、次のいずれかに該当する場合には、受託会社と同意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。

- ①受益権口数が10億口を下回ったとき
- ②受益者のために有利であると認めるとき
- ③やむを得ない事情が発生したとき
- ■当資料は、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ■当資料は、確定拠出年金法第24条および関連政省令に規定されている「運用の方法に係る情報の提供」に基づき、加入者の皆さまに対して、当商品の内容をご説明 するために作成したものであり、当該商品の勧誘を目的とするものではありません。
- ■当資料は、運用会社が作成した目論見書に記載された内容等に基づいて、運営管理機関(損保ジャパンDC証券)が作成しました。

DC-20-660-012 013J1922310